

ブータンに関する講演会 ～彩の国 教育の日 ふれあい講演会～	カテゴリー	歴史・意義	アスリート	多様性	日本人
		国際感覚	ボランティア	伝統・文化	(その他)

校種	小	中	高	特	学年等	全学年	参加対象	生徒	家庭地域	教職員
教科等	進路・キャリア教育					時期・時間	2学期(11月)・1時間			

### 1 プログラムのねらい

- 東京2020オリンピックに参加し、地元寄居町を事前合宿地とする、ブータン王国についての興味・関心や理解を深める。
- 自身が学生時代にアスリートとして活躍した経験を持ち、その後ブータンでの教員経験を経て、現在は写真家としてブータンに深く関わってきた関健作氏の話聞き、自らの進路を切り開くために必要な努力や進路選択における考え方などを学ぶ。

### 2 準備等

- 打ち合わせ
- 機材準備(プロジェクター・スクリーン・スピーカー・マイク)
- 振り返り感想記入用紙
- 講演会案内通知・講演会レジメ

### 3 取組の概要

#### 1 講演会の流れ

- (1) はじめのことば
- (2) あいさつ・講師紹介
- (3) ブータンに関する講演
- (4) 質疑・応答
- (5) お礼の言葉
- (6) おわりのことば

#### 2 公演概要

- (1) 自己紹介
- (2) 寄居町とブータンの関わり
- (3) ブータンってどんな国
- (4) ブータンから学んだこと
- (5) まとめ



### 4 おすすめのポイント

- ブータンに深く関わる関健作氏の話聞くことで、オリンピックに参加するブータンに関する興味・関心や理解が深まる。
- 多くの参加選手を送り込むスポーツ大国だけではなく、オリンピックに参加する小規模な国についてもスポットをあてることで、オリンピックの精神や、スポーツが国際交流において果たす役割を理解できる。
- 教員の経験もある関健作氏が話をするため、生徒が興味をもって話に引き込まれる。一方的に講師が話をするだけでなく、生徒に質問を投げかける場面や、生徒どうしが話し合う時間なども設定されており、アクティブ・ラーニングの要素も含まれている。